

決 裁	議 長	局 長	参 事	

受付

報 告 書

平成 2 5 年 月 日

湯前議会議長 山下 力 様

湯前町議会議員

議員派遣として参加（出席）した研修（会議）の内容（結果）は、次のとおりでありました。

期 間	平成 2 5 年 1 1 月 2 6 日～平成 2 5 年 1 1 月 2 8 日
場 所	東京都千代田区永田町、長野県北佐久郡御代田町
目 的	湯前町議会議員行政産業視察研修

報 告 の 内 容	<p>【研修内容】</p> <p>1. 議員会館・国会 研修</p> <p>1. 1 金子代議士の表敬訪問（11月26日午前11時～ 約30分）</p> <p>話の主な内容は以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ T P P ・ 医薬品ネット販売法案 ・ 特定秘密保護法案 ・ 減反政策 ・ 日本型直接支払い制度 ・ 社会保障制度改革プログラム法案 ・ 公立多良木病院の維持
	

1. 2 松村先生の経済産業委員会

- ・経済産業委員会の傍聴（約40分） 第21委員会室
産業競争力強化法案（閣法第三号）について
- ・主な質問者
小林正夫（民主党）
- ・主な回答者（自民党）
茂木経済産業大臣、松嶋経済産業副大臣

1. 3 国会議事堂（参議院側）の見学

1. 4 意見交換会 一蔵赤坂店

- ・金子先生（途中から立石さんへ交代）、松村先生、馬場先生との意見交換
特定秘密保護法案の強行採決により、急遽「参議院議運」が入ったため、短時間の会合となった。



2. トップリバー研修

2. 1 共通

- ・農業の魅力向上が必要
農業は10年後こそ勝負
- ・農家を如何にまとめるかが重要
- ・生産100点+販売200点
この割合のしくみづくりと育成が大切



2. 2 生産

- ・ニーズに合った取引をする。
個別の仕様が契約栽培のメリット
- ・「地産地消」「有機栽培」「特殊な農産物」から農産物を選ぶのではなく、農産物を必要としている販売先を最初に見つける。

2. 3 販売・営業

- ・契約先のその先を見つめる。
- ・野菜の契約価格は、「固定3割」+「変動7割」の割合で栽培している。
過剰生産分は、変動分の価格で取引。
- ・野菜価格安定制度も活用している。

2. 4 人材育成

- ・地域の核となる人材をつくる。
地域との共存、地域への貢献、人を支援・育てることが大事。
- ・社員研修（独立）を目指す人がほとんど。
たまにインターンシップを受け入れる。
著書にある「短期研修」「長期研修」は、ほとんどない。
- ・年間休日は自分たちで計画している。
生産のない空いた日にスキルアップの勉強をしている。
- ・人材の募集方法や選定方法を考えなければならない。
思うように動かない人もいる。
- ・独立した人の売上げ状況
1番多い人 2500万円
1番少ない人 700万円～800万円
- ・独立して家を建てた人 2人（30代）

2. 5 農地レンタル

- ・農地代は、農業委員会を通じて反1万円。
- ・長野県は、農地の借り手が多い。

2. 6 行政支援

- ・人材を育てる組織、がんばっている人や施設には支援をしたほうがよい。
- ・最近では、研修後の独立時に青年就農支援金を活用している。
- ・静岡県磐田市では、農業研修先をトップリバーに指定。

2. 7 その他（個別で専務に聞いた内容）

- ・トップリバーでは、加工品販売行う予定はない。（生鮮野菜のみ）
- ・著書にあったアパート型農場（賃貸入居型の新しい農場）は、これからの取り組み。

【感想】

<国会研修>

質疑の内容についてインターネットで公開されているため、今後の議会質問で大いに参考にしたい。

<トップリバー研修>

「販売・営業活動」と「人材育成」が特に重要であることを再認識した。

「人材育成」においては、後継者でなく「地域の核となる農業経営者」をしっかりと育て支援していくことが、今後の強い農業をつくる基盤であることを実感した。